

# 知って備える 防災メモ

第75回



## 『山菜』と『命』どちらが大切ですか

雪解けとともに、若葉が一斉に芽吹くこの季節。市内では、毎年、山菜採りによる遭難が発生しています。2017年には、消防や警察、自衛隊などによる大規模な捜索でも、発見に至らなかった事例もあります。

### 慣れや過信は禁物

山菜採りの初心者だけではなく、毎年入山しているベテランの方も遭難しています。同じ場所でも、天候や木々の生い茂り方などにより、山は変わった表情を見せます。

山菜を求めて、自分の命を危険にさらすことの無いようにしましょう。

### 安全な山はありません

『自分は遭難しない』と考えるのは禁物です。どんな人でも入山すれば遭難の危険性があることを理解し、注意を払って行動してください。

- ・ 出発前に天気予報を確認する
- ・ 行き先と帰宅時間を家族などに伝える
- ・ 一人で入山しない
- ・ 目立つ服装にする

- ・ 携帯電話や軽食、水を必ず持ち歩く
- ・ もし遭難してしまったら

自分の位置が分からなくなったり、同行者からはぐれた場合は、遭難したことを受け入れ、冷静に行動することが大切です。むやみに歩き回らず、笛や声で周囲に異常を知らせましょう。

また、携帯電話が使用できる場合は、110番や119番に発信することで大まかな位置を知らせることができる可能性があります。しかし、山の中では、携帯電話のバッテリーの減りが早くなることが多いため、無駄な通話は止めましょう。

### クマの出没に注意

2018年には、市内でクマの足跡が発見されていますので、クマへの注意も必要です。

- ・ 鈴などで音を出しながら行動する
- ・ フンや足跡などを見つけたらすぐに下山する
- ・ ゴミは必ず持ち帰る

### ▼問い合わせ

総務グループ (☎85 1 1 3 0)

人が輝き まちがとぎめく

# 仲間たち

Group

## 『お手玉の会』

『お手玉の会』は、手先を動かし、脳の活性化を図ることを目的として、1989年に発足した手芸サークルです。

現在のメンバーは60代から80代までの女性8人。毎週金曜日の10時から15時まで、老人福祉センターで活動しています。

「色とりどりの布や糸を使用し、好きなものを自分のペースで作っています。手提げバッグや洋服、雑貨などのほか、針山など、手芸に使う道具も手作りしていますよ」と話すのは代表の荒尾澄子さん。

できあがった作品は、日常生活の中で愛用するのはもちろん、友人にプレゼントしたり、毎年10月ごろに開催されている同セ



▲パッチワークや編み物に取り組むメンバー

ンターのサークル活動発表会で展示などもしています。

荒尾さんは「それぞれの技術に合わせて作品を作っているの、難しいことはありません。わからないところは他のメンバーに教えてもらうなど、楽しく活動していますよ」と魅力を話してくれました。

2016年に入会した中川フミさんは「週に一度集まって、仲間とおしゃべりしながら趣味の手芸を楽しむことが、元気の秘訣になっているかもしれない」と笑顔を見せます。

メンバー同士でアドバイスをし合い、本を参考にした新たな作品作りにも挑戦している『お手玉の会』。活動に興味のある方は代表の荒尾さん(☎85 7 1 4 4)まで。

## 交流のついでに 仲間との交流も 手芸でいっしょに 元気な仲間たち